

	基本理念	基本視点
画 第3期 高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計	安心していきいきと暮らせるまちづくり ーみんなでつくる、みんなの福祉ー	視点1 利用者本位の福祉サービスの実現 視点2 生涯にわたり「自立」を支える福祉の実現 視点3 地域で支える福祉の実現 視点4 市民参加による幅広い福祉の実現
画 第4期 高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計	笑顔ある安心していきいきと暮らせるまちづくり ーみんなでつくる、みんなの福祉ー	視点1 利用者本位の福祉サービスの実現 視点2 「自立」を支える福祉の実現 視点3 地域で支える福祉の実現 視点4 市民参加・参画による幅広い福祉の実現

高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の基本視点の考え方

視点1：利用者が自分にあったサービスの選択ができるように、情報提供や身近なところで相談できるような体制の充実や質の確保、さらに権利擁護体制を充実し、利用者本位の福祉サービスの実現を目指します。

視点2：個人の尊厳を大切に、地域で自立していきいきとした生活ができるような福祉の実現を目指します。

視点3：自治体、福祉関係機関、民間事業者、NPO、ボランティア団体等の連携・協働（公助・共助・自助）により、地域で支える福祉の実現を目指します。

視点4：市民が自ら福祉を支え・実現していくため、計画の段階から参加し、幅広い福祉の実現を目指します。